

No.
105



独立行政法人国立病院機構

静岡医療センター NEWS

ニュース

私たちは生命を大切にし
社会から信頼される
高度で適切な医療を提供します



6西病棟スタッフ

巻頭言 日本医療機能評価機構の「病院機能評価」を受審して	
副院長 小澤 章子	2
診療科の紹介 整形外科	3
トピックス EV-ICD を用いた手技について	4
病棟紹介 6西病棟の紹介	5
リハビリ部門紹介 転倒予防について	6
地域医療連携室	7
外来担当医表	8



◀ 静岡医療センター
ホームページ

発行：静岡医療センター／発行責任者：岡崎 貴裕／発行日：令和7年11月1日



日本医療機能評価機構の 「病院機能評価」を受審して

副院長 小澤 章子

このたび、当院は公益財団法人日本医療機能評価機構による「病院機能評価」を受審いたしました。病院機能評価は、病院が提供する医療の質と安全が日本の医療機関として求められる一定以上の水準を満たしていることを、医療の専門家による第三者機関が客観的に検証し認定する制度です。今回は最新かつ最も厳格な評価基準である【3rdG: Ver.3.0】に基づき、多岐にわたる機能が詳細に審査され、以下の4つの重要な領域を中心に行われました。

- (1)患者中心の医療の推進：患者様の権利擁護、インフォームド・コンセントの徹底、苦情への真摯な対応など、患者様を主体とした医療が実践されているか。
- (2)安全な医療の提供：医療事故防止、感染対策、医薬品の安全管理、情報管理体制など、リスクマネジメントの体制が機能しているか。
- (3)質の高い医療の実践：専門職としての倫理観、診療ガイドラインに基づいた適切な医療提供、チーム医療の連携、継続的な研修によるスキルアップなどを実施しているか。
- (4)健全な病院運営：病院の理念と方針の明確化、財務基盤の安定、地域連携の推進、働きやすい職場環境の整備など、持続可能な運営体制が構築されているかです。

当院では各職種、各部署の活動のみならず現場における取り組みとして、職種横断的な活動やチーム医療の促進体制、感染拡大を防ぐための手指衛生とゾーニングの徹底、患者様の取り違えを防ぐためのネームバンド装着（救急外来受診者を含む）や転倒・転落による二次被害を防ぐための踵のある履物のご持参をお願いする活動など、患者様の安全に直結する具体的な対策を実施してきました。今後も、今回の審査で得られた知見を活かし、評価が高かった点はさらに強化し、工夫が必要な点についてはPDCAサイクル（※1）やOODAループ（※2）を速やかに回して具体的な是正策を講じていくとともに、地域医療連携を一層深め、地域の診療所や他施設とのスムーズな連携を通じて患者様にとって最適で切れ目のない医療を提供できるよう努めてまいります。

これからも、質の高い医療の提供と安全管理体制の維持・向上に全力を尽くしますので、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

※1：PDCA（**P**lan:計画－**D**o:実行－**C**heck:評価－**A**ct:改善）

※2：OODA（**O**bserve:観察－**O**rient:状況判断－**D**ecide:意思決定－**A**ct:実行）

診療科の紹介 整形外科

静岡医療センター整形外科は整形外科専門医3人を含む医師4人、診療看護師1人の5人体制で日々の診療に従事しております。

整形外科を受診する患者さんは、どのような疾患が多いと思いますか？

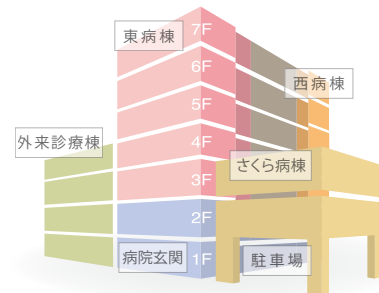
転倒などによる骨折・脱臼・捻挫・打撲・擦過傷、包丁などでの切り傷・刺し傷、ぎっくり腰などの腰痛・神経痛・筋肉痛、加齢性変化に伴う関節痛・五十肩・変形性関節症、他にも骨粗鬆症・関節リウマチ・側弯症・先天性股関節脱臼など。これらはまだ一部であり、様々な症状で皆さまご受診されています。生後間もない乳児～高齢の方まで、全世代の方と関わらせていただけるのも当科の特色です。

その中でも高齢化社会に伴い、転倒転落によって骨折される方がたいへん増えています。脊椎(背骨)の圧迫骨折、大腿骨近位部骨折、手関節の骨折などが上位を占めます。特に大腿骨や脊椎の骨折は日常生活に大きな影響を及ぼす骨折です。

なんと大腿骨近位部骨折は日本全国年間25万人もの患者さんが毎年受傷されています。疫学的には70歳以上に起こりやすく、男女比1:3と女性に多く、骨粗鬆症と関連が大きく室内でただ転んだだけで骨折してしまいます。こういった大きな骨を骨折してしまうと通常歩行能力は低下し、肺炎・認知症・深部静脈血栓症などの合併も起こりやすくなります。一年以内に命に関わるような合併症も5～10%で生じるとされます。



整形外科診療部長
入江 悠子



このような生活に大きく関わる怪我を回避するために、筋力やバランスの低下が転倒に繋がることから、日頃から運動習慣をつけて体力維持や転倒予防に努めることは大切です。特に閉経後の女性は骨粗鬆症の検査を受けて必要に応じて早期から治療を行うことも有効です。

整形外科外来では骨粗鬆症検査・治療を行っております。また骨折で入院された方には骨密度検査を推奨しています。元々治療をされている場合にもその薬が合っているのかを評価し、必要に応じて薬剤の変更も行います。

また大腿骨近位部骨折は受傷から平均2.65日以内にすべての患者さんを手術し、手術翌日から歩行訓練を開始することで、日常生活動作が大きく低下しないよう努めております。

近隣のリハビリテーション病院や整形外科クリニックとも連携を取り、手術後のリハビリや、骨粗鬆症治療の継続をお願いし地域全体で治療に取り組むことが大切と考えています。

さらに近隣の整形外科クリニックでは、転倒する前の一次予防のために運動を指導するなどの新たな取り組みも始めてくださっています。

皆さまも将来の怪我・骨折の予防、そして健康と体力の維持のために、ぜひ運動習慣をつけていただけたら幸いです。

EV-ICDを用いた手技について

心臓突然死は日本で年間約6～8万人、1日あたりおよそ200人が亡くなるといわれ、その多くは危険な不整脈が原因です。駅や商業施設にあるAED(自動体外式除細動器)は、この不整脈を電気ショックで止めて命を救う装置として広く知られています。しかし、突然倒れた本人は使えません。近くにいる人がすぐに気づき、操作して初めて救命が可能です。

そこで当院循環器科では、AEDの機能を持つペースメーカーを体内に植え込み、本人が気づかなくても自動で電気ショックを行い命を守る治療を行っています。これがICD(植え込み型除細動器)です。従来のICDは左胸にポケットを作り、血管を通して心臓へリード(電極)を入れる必要がありましたが、血管を傷つけるトラブルや感染の心配がありました。

近年、新しいEV-ICD(血管外植え込み型除細動器)が登場しました。これは左脇腹にポケットを作り、リードを胸骨の裏に留置するため血管を通さずに設置でき、より安全で体への負担も少ないのが特徴です。当院では8月、静岡県内で初めてハイブリッド手術室を使いEV-ICDの植え込みを行いました。

傷跡も目立たず、患者さんにとって快適な新しい治療です。

さらに当院では、リードやポケットが不要な最新の「リードレスペースメーカー」も多くの患者さんに提供しています。不整脈でお困りの方は、ぜひお気軽にご相談ください。



循環器内科診療部長
小鹿野 道雄



病棟紹介

6西病棟の紹介

6西病棟は、内科を中心とした病棟で、一般内科をはじめ、消化器・呼吸器・糖尿病内科、リウマチ科、皮膚科の患者様が入院しています。当病棟では、肝臓・膵臓・胆のう・腸管などの消化器に関わる疾患の他、肺炎、COPD(慢性閉塞性肺疾患)などの呼吸器疾患や尿路感染症、腎不全などの幅広い内科疾患に加え、リウマチを既往に持つ患者様の受け入れを行っています。また、糖尿病内科では、血糖コントロールが不安定な患者様や合併症を抱える患者様に対して、検査、治療だけでなく、個々の状態に合わせた看護と生活指導を行い自己管理が継続できるよう支援しています。皮膚科では、帯状疱疹、蜂窩織炎、重度褥瘡などの患者様が多く、疼痛や掻痒感の緩和、感染予防に努めています。このように当病棟では、多岐にわたる診療科の急性期から慢性期、終末期に至るまでの患者様に対応しています。



6西病棟看護師長
伊藤 みさと

当病棟の特徴は、緊急入院患者様の受け入れが多く、令和6年度の入院患者様のうち緊急入院患者様は47.7%を占め、多い時には、60%にのぼる月もありました。看護師は32名在籍しており、そのうち1名は感染管理認定看護師です。また、内科、消化器内科にはJNP(診療看護師)が各1名配置されているため、専門性の高い看護を提供できる環境であることを活かし、高齢で複雑な疾患を持つ患者様の受け入れを行っています。

入院患者様の高齢化が進む中、多様な健康課題や慢性疾患を抱える患者様も増え、疾患や環境の変化により認知機能の低下やせん妄を発症する患者様も多く見られます。また、慢性疾患を抱える患者様は、退院後、症状が変動する可能性があります。そのため、認知症・せん妄ケアチームや疼痛緩和チームといった医療チームと連携を図りながら、より丁寧な観察と看護を提供し、安心して療養生活が送れるよう支援しています。また、患者様が入退院を繰り返さないよう管理栄養士、薬剤師、理学療法士、ソーシャルワーカーなどの多職種と連携・協働し、家族も含めた看護を提供しています。

当病棟は、若い看護師が多く在籍しており、活気ある病棟です。これからも日々成長を続けながら、患者様が安心して療養生活を送ることができるよう努めると共に医療を通じて地域貢献できる病棟でありたいと考えています。



転倒予防について



理学療法士
安江 一樹

冬の始まりを感じる季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。これからの季節は、暖かく過ごすことが何よりも大切になります。室内ではこたつやストーブを使用することや、足元を暖かくするためにスリッパや厚い靴下を履いて、寒さに対して対策をされる方も多いと思います。その一方で、寒くなると自宅内での転倒される方が多くなる傾向にあります。暖房器具のコード類や履物によって滑りやすくなったり、躓きやすくなったりすることが起きやすくなってしまいます。また、外出することが億劫になり、自宅内での生活時間が長くなることで運動不足に陥りやすくなるのも原因の一つかもしれません。

転倒とは、身体の様々な不調や加齢に伴う身体的な変化に加え、周囲の段差や滑りやすい床などの環境的な要因によって引き起こされるものです。重要なことは転倒に至る要因の中には未然に対策が可能な要因も含まれていることです。健康上の問題で日常生活が制限されることなく、自立して生活できる期間を「健康寿命」といいます。一回の転倒をきっかけに、大きな怪我へ繋がり身体機能を低下させることは、健康寿命を大きく損なう一つの原因となります。つまり、転ばないということが健康寿命を守るということになります。これからの季節は寒さ対策と同時に、転倒予防についての意識を高めていただけたら幸いです。

今回は、転倒に関する身体機能の検査と自宅屋内を確認する箇所を簡単ですが、ご紹介します。いつまでも健康な身体で、安心して日常を過ごすことができる自宅環境を心がけていきましょう。

転倒リスク評価

質問項目	はい	いいえ
過去1年間に転んだことがある	5点	0点
歩く速度が遅くなったと思う	2点	0点
杖を使っている	2点	0点
背中が丸まってきた	2点	0点
毎日お薬を5種類以上飲んでいる	2点	0点

※合計点が6点以上になると、転倒しやすい状態と考えられます。



屋内環境の確認

- ① 電気コードは、壁に沿わしたり、絨毯の下を通したりして、つまづかないようにしましょう。
- ② 衣類、本、新聞などは床に置いたままにせず、すぐに片付けましょう。
「ちょっとだけ」という気持ちが転倒を引き起こします。
- ③ 座布団やラグマットはつまづきの原因になるため、なるべく使用しないようにしましょう。

椅子からの立ち上がりテスト



椅子に座り、立ち上がり動作を5回繰り返します。

12秒以内に完了できれば、足の機能が保たれています。

地域医療連携室

連携医療機関紹介

徳倉なかにし整形外科

徳倉なかにし整形外科は、2025年5月1日に清水町徳倉に開院いたしました。

当院では、首、肩、腰、膝の痛みなど日常で感じる体の不調からスポーツ外傷、骨折、捻挫といった急性のケガまで、幅広い整形外科疾患に対応しています。丁寧な診察と的確な診断を心がけ、患者さんのライフスタイルや希望に合わせた治療計画を提案します。また、手術や高度な医療が必要な場合は静岡医療センターと連携し治療を行います。

治療法は、投薬や注射による保存療法に加え、リハビリテーションにも力を入れています。現在7名の理学療法士が患者さんの状態に合わせた運動療法や物理療法を実施し、痛みの根本的な改善と再発防止を目指します。また、最新の医療機器を導入し、より効果的な治療を提供できるよう努めています。

院内はバリアフリー設計となっており、車椅子の方でも安心してご来院いただけます。スタッフ一同、温かく親切な対応を心がけ、患者さんが気軽に相談できる雰囲気づくりを大切にしています。

体の痛みでお困りの方は、どうぞお気軽にご来院ください。



診療時間：受付：午前 8:50～12:00
午後 14:20～18:00
診療：午前 9:00～12:30
午後 14:30～18:30
(緊急時は上記時間外でも、
まずは電話にてご相談ください。)

休診日：水曜日・土曜日午後・日曜日・
祝日・夏季休暇・年末年始

診療科目：整形外科・リハビリテーション科

住所：駿東郡清水町徳倉 616-1

電話番号：055-941-6868

ホームページ：<https://tokura-nakanishi.com>



	呼吸器内科	糖尿病内科	内科		腎臓内科	消化器内科		脳神経内科		リウマチ膠原病科	眼科		心臓血管外科		外科				呼吸器外科	小児科			産婦人科	脳神経外科	
	A-2	A-4	B-2	B-3	A-3	B-4	B-5	A-1 (再診)	A-1 (初診)	B-1	A-6	A-5	B-2	B-3	C-2	C-3	C-4	C-5	C-3	C-6		C-8	C-7	D-1	D-2
月			仲田 予約のみ	北野 第1・3・5週 内科担当医 第2・4週 予約のみ			坂木 予約のみ		田中 予約のみ		片山	梅原			相馬	鈴木(達)	福島 乳がん 専門外来					芳本 予約のみ (第4週)		高橋	黒田
火	呼吸器内科 担当医 予約のみ	有安 予約・紹介状 のみ				大西 予約のみ	消化器内科 担当医 予約のみ	日向 予約のみ	日向 予約のみ	岡崎(院長) 予約のみ			波里	高木	腫瘍内科 担当医 伊澤	松下	高城	中野(良)		渡邊 予約のみ 第2・4・5火曜日	守田 フォロー外来 第1・3火曜日		新槇	黒田	高橋
水		糖尿病担当医 予約・紹介状 のみ		辻林 予約のみ			松田 予約のみ	本間 予約のみ	田中 予約のみ	飯田 予約のみ	片山	梅原			斎藤		田中(雄)		植松			佐野 予約のみ (第4週)	山澤		
木	古屋 予約のみ	小林(秀) 予約・紹介状 のみ			若林 再診 予約のみ	大西 予約のみ		田中 予約のみ			片山	梅原	相磯	後藤	酒井	角	末永				田中 予約のみ (第4週)	北山 第1週 目黒 第4週 予約のみ	山澤	高橋	黒田
金	本橋(典) 第1・2・3・5週 塚下 第4週 予約のみ	糖尿病担当医 予約・紹介状 のみ		内科担当医 予約のみ	堀川 第3金曜日 予約のみ		松田 予約のみ	鈴木(重) 予約のみ	鈴木(重) 予約のみ		片山	青木			石上	外科 担当医	尾崎						産婦人科 担当医	黒田	高橋

	整形外科			耳鼻咽喉科		泌尿器科		形成外科	放射線科		皮膚科		歯科口腔外科				循環器内科				ペインクリニック
	D-3 (整形)	D-4 (整形)	D-5 (整形)	E-1	E-2	E-5	E-6	F-1	F-1	F-2	F-3	F-4	G-1	G-2	G-3	G-4	H-1	H-2	H-3	H-4	
月		小林(哲) 予約・紹介状のみ	村山 予約・紹介状のみ	荒井	小森	鈴木(祥) 予約のみ 診察9:00～10:30	間庭 予約のみ 診察9:00～10:30	大森 ※第3週は 予約のみ		杉山(彰)	斎藤(寛)	杉山(由)	輪番制 予約のみ 特診日(第1週)					田邊	松田(龍)	中島	
火		渡邊(健) 予約のみ		荒井	池田 診察 9:30～11:30	鈴木(祥) 予約のみ	間庭 予約のみ	吉原		小久保	斎藤(寛)	杉山(由)	新井	山崎	千葉		田尻	川中	木村(慶)	國分	
水	大沢 予約のみ	入江 予約・紹介状のみ	整形担当医 予約・紹介状のみ	荒井	横山	鈴木(祥) 予約のみ	間庭 予約のみ			小久保	斎藤(寛)	杉山(由)	新井	山崎	千葉		田邊	小鹿野	國分	伊佐治	中央処置室 井出 (午前) 予約のみ
木		入江 予約・紹介状のみ	渡邊(健) 予約・紹介状のみ		荒井			田村		杉山(彰)	斎藤(寛)	杉山(由)	新井	(午後) インプラント 外来 予約のみ	山崎	千葉	小杉 第1・3・5週	松田(龍)	田尻	田邊	小山内
金		小林(哲) 予約・紹介状のみ	村山 予約・紹介状のみ		荒井 診察14:00～16:00 受付13:30～15:30	鈴木(祥) 予約のみ	間庭 予約のみ		奥原 第2・4 金曜日のみ 予約のみ	小久保	斎藤(寛)	本田 第3週金曜のみ 予約のみ 診察14:30～15:30	杉山(由)	新井 予約のみ	山崎	千葉	佐々木(剛)	中島	川中	小鹿野	

◎上記の診察日は、休暇や学会出席等で変更することがありますので、詳しくは各科外来の掲示で確認して下さい。

- *脳ドック…………… 毎週 (月) (金)
- *皮膚科(本田医師)…………… 本田医師に受診中の患者様のみ予約できます。
- *ペインクリニック(井出医師)… 井出医師に受診中の患者様のみ予約できます。

がん相談支援センターのご案内

相談日時：月～金曜日(要予約)(祝日・年末年始除く) 午前9時～午後4時
担当：静岡医療センター地域連携室 医療ソーシャルワーカー

- *形成外科(大森医師)…………… 第3月曜日は爪処置専門外来となります。
- *認知症外来…………… 毎週(月)、(火)の午後 予約のみ

一般内科の診療形態の変更について

内科医師の退職に伴いまして、**令和6年4月以降の「予約の無い一般内科外来診療」は、一時的に休診とさせていただきます。**
出来るだけすみやかに再開できるように医師確保に尽力しております。
ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。



独立行政法人 国立病院機構

静岡医療センター

〒411-8611 静岡県駿東郡清水町長沢 762-1

☎ 055-975-2000 FAX：055-975-2725 紹介用 FAX：055-975-1999

令和7年11月1日現在

